

NEWS RELEASE

2023年2月22日

株式会社ファミリーマート

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

報道関係各位

ファミリーマートとコカ・コーラ ボトラーズジャパン、 SDGs 推進で協業を開始

第一弾として身近な環境問題をテーマとした小学生向け出前授業を開催！

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介、以下 ファミリーマート）とコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 最高経営責任者：カリン・ドラガン、以下 コカ・コーラ ボトラーズジャパン）は、SDGs（持続可能な開発目標）の分野における連携・協力事業を今後、推進してまいります。第一弾として小学生向け出前授業を2023年2月22日に実施しました。

このたびの協業により、ファミリーマートとコカ・コーラ ボトラーズジャパンは、それぞれの資産・知見を有効活用することで、SDGs 達成へのさらなる貢献を目指します。ファミリーマートは、コンビニエンスストアが地域社会の活性化拠点として、より良い地域社会をつくるための社会的な役割を果たすと考え、地域社会発展に貢献する便利を提供するサービスに力を入れることで SDGs 実現を推進しています。マクロ環境の変化に伴うコンビニエンスストアビジネスの多角化を踏まえ、企業対企業の多領域での連携が重要と考え、SDGs 推進における協業にいたしました。

コカ・コーラ ボトラーズジャパンは、社会課題を「多様性の尊重」「地域社会」「資源」の3つのプラットフォームに分類し、そのなかで9つのトピックを重点課題（マテリアリティ）として特定し、社会との共創価値を目指す非財務目標「CSV Goals」達成に向けた事業活動を通じたアクションを実行することで、SDGs を推進してきました。

本協業の第一弾として、両社社員が講師となり、子どもたちに身近な存在であるコンビニエンスストアと飲料を切り口とした環境問題に関する出前授業を足立区立中川小学校 4年生向けに実施しました。授業は、講義に加え、環境問題を自分事として生徒のみなさんに捉えていただくために、コカ・コーラ ボトラーズジャパンのセールスセンターに赴くフィールドワークと、学んだ成果をポスターとして制作するワークショップで構成されています。身近な内容と関連付けて環境問題を知ることにより自分自身の問題として捉え、本出前授業が生徒のみなさんにとって普段の行動の中で環境に対する意識を変えていききっかけとなることを期待しております。

両社の SDGs 推進のための連携は本出前授業に加え、今後、ダイバーシティ&インクルージョンなど多様性尊重の分野や環境対応などでの協業も予定しております。コカ・コーラ ボトラーズジャパンとファミリーマートは、双方の資産・知見を連携させた取り組みを継続的に実施し、SDGs 達成への貢献を目指してまいります。

【出前授業実施概要】

実施日：2023年2月22日（水）

所要時間：半日（午前）

対象：足立区立中川小学校 4年生 52人

プログラム：講義、フィールドワーク、ワークショップ

■ 講義

- ・SDGs の説明
- ・ごみ問題、水問題、食品ロス解決のための各社の取り組み紹介



■ フィールドワーク

- ・コカ・コーラ ボトラーズジャパン足立セールスセンターに行き、「リサイクルボックス」に投入された異物を確認



■ ワークショップ

- ・講義を踏まえリサイクルポスターを作成
- ・ポスターは今後、ファミリーマート店舗やコカ・コーラ ボトラーズジャパン自動販売機に掲示予定です。

